

令和7年1月24日(金) 16:00～
孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム
令和6年度第2回シンポジウム 事例紹介

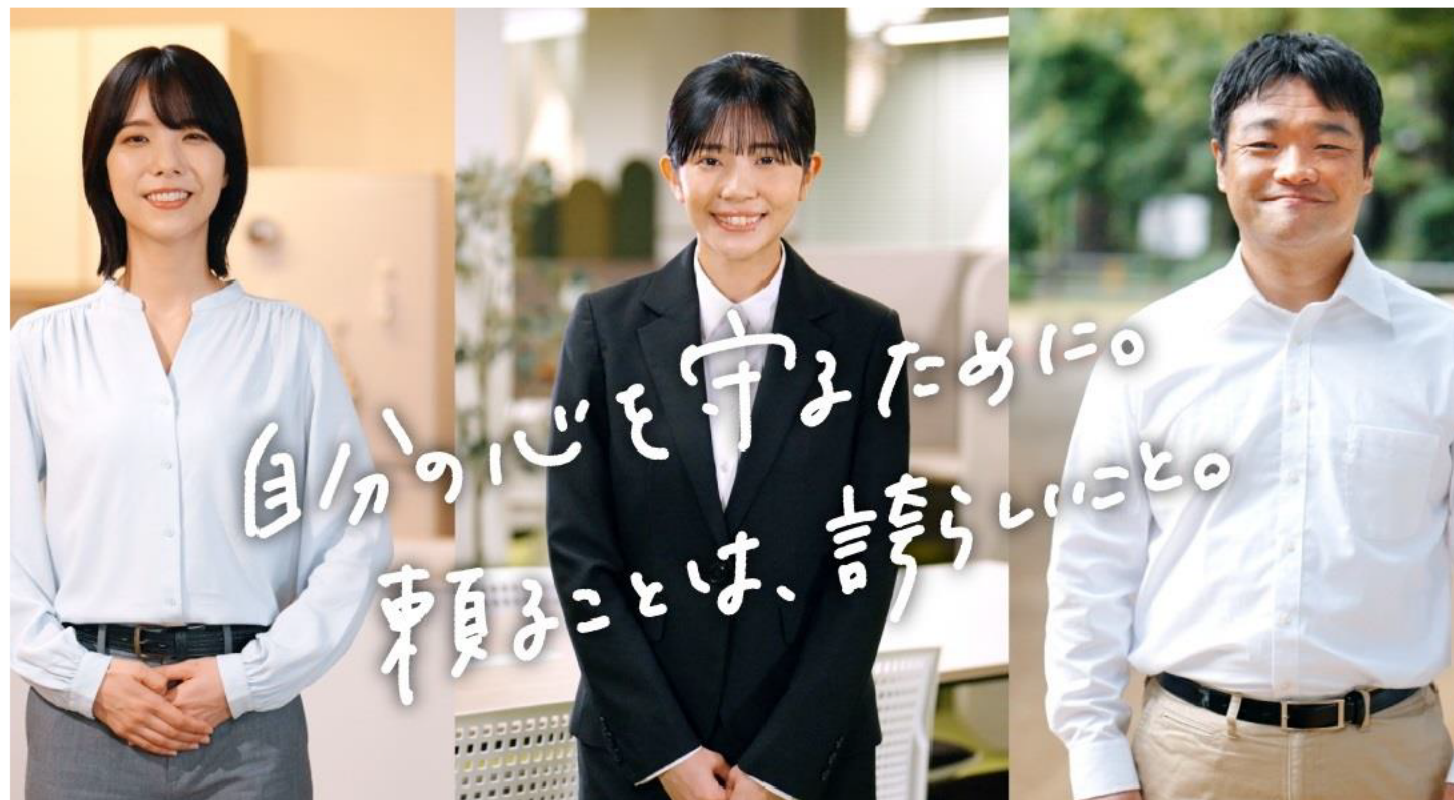
埼玉県におけるジェンダー主流化の推進について ～孤独・孤立との関係性を考えながら～

埼玉県知事 大野 元裕



孤独・孤立の背景に透けて見える「ジェンダー」

埼玉県孤独・孤立対策WEB広告動画



埼玉県公式YouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/watch?v=bEOIsVymFFk>

孤独・孤立の背景に透けて見える「ジェンダー」

埼玉県孤独・孤立対策WEB広告動画



「家事や子育ては女性が担うもの」



「介護する男性は少ない」「男性は人に相談しない」



ジェンダーは孤独・孤立の背景になり得る

埼玉県におけるジェンダ・主流化の推進

ジェンダー主流化とは

「ジェンダー*による思い込みや偏見、性別役割分担によって男女間の格差が生じていないか」という視点に立ち、施策や事業が、住民、ユーザーや社会に及ぼす影響などを点検し、その格差解消を図る取組

*ジェンダー（gender）

社会的・文化的に形成された性別のこと。人間には生まれつきの生物学的性別（sex）がある。一方、社会通念や監修の中には社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別（gender）」という。

今なぜジェンダー主流化に取り組むのか

- ・ 県の施策や制度においては、男女の機会の平等は確保されている。
- ・ それでもなお、依然として女性の活躍を妨げるガラスの天井は存在する。
- ・ どれだけ努力しても結果の平等をもたらさない不公平を今も生じさせている。
- ・ このガラスの天井を打ち破りたい。

県が実施している施策にジェンダーの視点を取り入れ、男女間格差の解消を図る取組を促進する仕掛けを作りたい。

埼玉県におけるジェンダ 主流化の推進

目的

ジェンダー主流化を県の施策に反映させ、埋もれていた男女各々の視点を取り入れた取組を進め、誰もが暮らしやすい埼玉県を目指す

全庁展開
に向け

あらゆる施策において男女間格差を洗い出し、
格差を解消するための手法の確立が必要

令和5年度

全庁展開に向けて手法を確立するため、幅広い県政の分野から5つのモデル事業を選定して事業点検を試行

- ・ ジェンダーの視点に立った災害対応
- ・ 女性の創業支援
- ・ 新規農業者の育成・確保
- ・ 都市公園施設の整備
- ・ 男性職員の育児休業の取得促進

住民に最も関係ある避難所でジェンダー視点導入を進め、避難生活の安心安全の向上が急務
ジェンダー視点による避難所開設・運営の充実強化
➢ 県標準手引き及び映像資料の作成 ➢ 手引きを活用し、市町村版マニュアルの策定を依頼

令和6年度

県

県の施策の点検

ジェンダー主流化の視点を取り入れた施策の展開

埼玉県における
ジェンダー平等
の実現へ

セミナーや講座を通じ波及

市町村・企業

市町村・企業におけるジェンダー主流化の理解促進

市町村事業や企業活動への展開

女性だからこそ直面する課題

- 男性は出勤時に子どもを保育園に預け、女性が夕方に迎えに行く。結果として女性だけ職場の懇親会などに参加できない。
- 責任の重い仕事を担う上で性別は関係ないと言われるが、子どもを理由に周囲に迷惑を掛けられないので、挑戦をあきらめた。

女性が家庭や職場から孤独・孤立を感じることにつながる。

県庁における育児休業の取得促進

ジェンダー主流化の試行点検における職員へのヒアリング等の結果、男性は育児休業を取得すること自体について、女性よりも周囲の目を気にしていることがうかがえる。また、未だ「育児は女性がメインで担うもの」という潜在意識を職員が持っていることも考えられる。

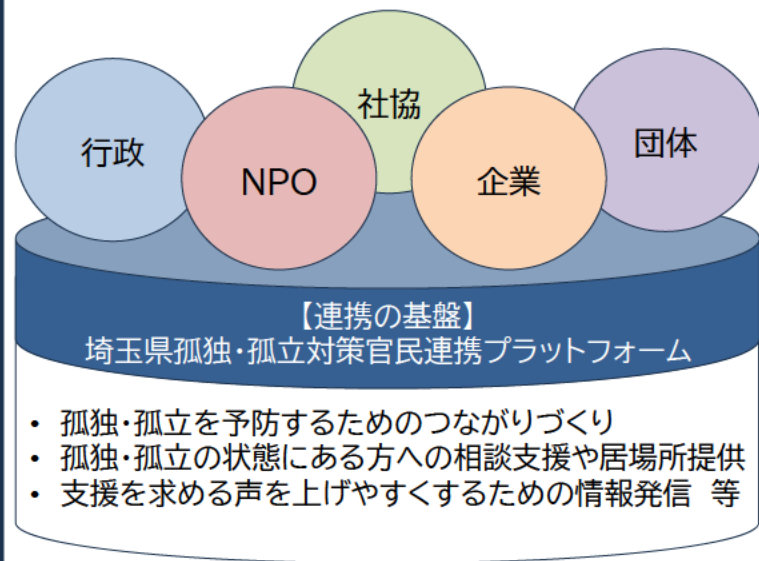
ジェンダー格差解消のためには、男女等しく育児休業を取得することが「当たり前」と思うための意識改革が必要と考えられる。

➤ 育児休業取得促進のための取組強化

- ・子育てのための休暇取得プログラムの改善と職員に対する育休取得勧奨の徹底
- ・出産の翌年度に職員に対するアンケートを実施し、取組状況を確認
- ・男性の育休取得例をまとめ、体験談とあわせて発信するなど情報発信を強化
- ・子の出産の報告があった場合に所属長やグループリーダー等が取るべき行動を立場ごとに例示し、フォローする側に対しても新たに情報発信

孤独・孤立対策から見たジェンダー主流化の推進

埼玉県 の孤独・孤立対策



孤独・孤立に包括的に対応



孤独・孤立

- 生活困窮
- 不登校
- 妊娠・出産・育児
- 障害者・難病患者
- LGBTQ
- 外国人
- DV被害
- 独居
- …

家柄・収入

容姿

ジェンダー

出身地

年齢

職業・働き方

…

孤独・孤立の背景に対応



ジェンダー主流化などによる
意識改革・事業見直し・啓発

- 孤独・孤立対策を効果的に推進するためには、様々な固定観念や差別意識を解消していく取組も併せて必要。
- ジェンダー主流化の推進は、孤独・孤立対策から見ても大きな意義がある。

ご清聴ありがとうございました

